

目標達成計画

作成日: 平成 23年 6月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画の評価の記録が途切れており、新しい書式ができていない。	介護職員、計画作成者、責任者など、全員の意見を集約し、より良い介護計画の評価方法を考え出す。	・以前の評価方法を土台に新しい評価方法を検討する。 ・計画作成者と介護職員の話し合いの場を定期的に設ける。 ・評価方法の定期的な見直し。	6ヶ月
2	49	家族の方の協力で外出の機会が作られているが、日常的な取り組みが足りていない現状がある。	グループホーム専用の車いすを準備したり、職員を増員するなどして、入居者一人ひとりのADLに応じて外出の機会を設けることができるように努める。	・1階のデイサービス利用者の方々と近くの公園に散歩する機会を設けた。 ・ADLの現状の保持のために椅子からの立ち上がり運動を実施した。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。